

新2、3、4年生の皆さんへ 「希望」

校長 荒井 利之

桜の季節が到来し、寒暖を繰り返す中で春の気配を感じるこの頃となりました。皆さんにおかれましては、毎日お元気で過ごされてきたことと存じます。本来ならば始業式で皆さんとお会いし、いつものように応援の言葉を直接お伝えしたいところですが、このたびの新型コロナウイルス感染症予防のため、皆さんの健康を第一に考え、一堂に会した始業式をお手紙に替えさせて頂きますことをお許しください。

約1か月間、自宅で過ごすことの多かった毎日の中で皆さんはどのようなことを考えていたでしょうか。皆さんは鋭い感性の持ち主ですから、日々変化する状況の中、見えないものが迫ってくることの怖さ、目の前の光景でさえ現実味のない感覚、動きたくても動けない苛立ちの中で、先の見えない毎日から早く解放されたいと思った人も多かったと思います。

しかし、春の温かい風に触れ、草木が芽生え、青空のもと桜のつぼみが膨らみ、次第に花を咲かせる様子を見た時、きっと皆さんは「春は確実に来ている！」と感じたことと思います。ウイルスに負けず、一生懸命に花を咲かせようとする草木に「生きる」ことの意味を教えられたのは私だけではなかったと思います。

どんな状況の中でも、生命あるものは確実に前へ進むものです。一人の力は小さくても多くが集れば、そのパワーは無限に広がります。皆さんは、今日、約1カ月ぶり友人や先生方と再会することができました。お互いが顔を見合わせ、それぞれの思いを受け止め、心を通わせることで、自分の中で止まっていた何かが動き出したのではないのでしょうか。当たり前の毎日がどれだけ有り難いかも感じたことと思います。これこそ「希望」と言えましょう。人は人の間でこそ生きるものです。今日得たパワーを活かし、もう一度自分自身を見つめ、一人ひとりがこれからの進むべき方向性を考えていきたいものです。

今後、学校も再開し、いつもの学校生活へ必ず戻る時がやってきます。私たちも授業の再開へ向けて準備に取り組んでいます。もうしばらく不自由をおかけしますが、授業へスムーズに移行できるよう、これからは学習課題もお渡ししていきますので、家庭学習を通して学びの感覚を養って頂きたいと思います。

皆さんの明るい笑顔、笑い声、そして希望にあふれる川崎総合科学高等学校へ早く戻ることができるよう、今こそ皆さんで心をつなぎ合わせていきましょう。

「君よ、朝の来ない夜はない」 扇谷正造の言葉